

まずは、リオ五輪コースの設計者に決まった時の喜びを聞かせてください。

ハンス その日、私達は米ツアーのキャデラック選手権を開催するコース改造準備のため、フロリダのドライバーにいました。ゴルフチャンネルのTVカメラがまわるなか、4時間も待たされましたが、IGF（ゴルフ国際連盟）から、8人の決勝進出者のなかから私に決定の連絡がきた時は歓声が上がり、私自身有頂天になり、これまでの業績が評価されたのだと誇りに思いましたね。その後の謝恩パーティは一生忘れないでしょうね。

ハンス 選定委員会で私達のどこが評価されたのか確信はありませんが、それでも思い当たる理由は2つほどあります。1つは私が徹底した現場主義であること。コース設計は机上にあるのではなく、現場にあるというのが設計方針なのです。2つ目はたとえ私達の名前が有名でなくても私達の「手造り」のデザインスタイルが認められたということで、非常に嬉しく思います。

ハンス その有名なデザイン事務所とハンスさんのところとどこが違うのですか？

ハンスさん自身、ブルドーザーなど重機にも乗られたとか……。ハンス オブコース・デザイナー自身が愉しむことは創造にとって大事な要素と考えています。

オリビックコースのためのデザイン概念は何でしたか？ 世界での有名なコースをどこか参考

五輪の後まで熟考して設計したチームカ

この荒廃地に

0から作った

チームギル・ハンス、

リオのリンクス

東京ゴルフ倶楽部も改造  
「リオ五輪開催コース設計家」

# ギル・ハンス 独占インタビュー

リオ・オリビックで112年ぶりに復活したゴルフ。その舞台であるレセルバ・マラベンデイGCはその開幕を静かに待っている。設計家ギル・ハンスのもと7人の設計チームで9カ月間かけて造成された。そのハンスはどのようなコンセプトでこのコースを造ったのか？ 彼のデザイン哲学とは何か？



ニール・クレバリー  
Neil Cleverley  
(グリーンキーパー・イングランド)

ニール・キャメロン  
Neil Cameron  
(シェーパー・スコットランド)

ギル・ハンス  
Gil Hanse  
(デザイナー・アメリカ)

エイミー・オルコット  
Amy Alcott  
(デザインコンサルタント・アメリカ)

ベン・ヒラルド  
Ben Hillard  
(シェーパー・オーストラリア)

ベンジャミン・ウォレン  
Benjamin Warren  
(シェーパー・スコットランド)

ハンスのデザインパートナー、ジム・ワグナー(左)。本来はバインハーストのミッドバインズをリストアした設計家だが、今回はシェイパーで参加したカイル・フランス(右)



とは、想像はできませんが、確定的なことは判りません。だからその違いをはっきりと言えないのですが、自分のことなら言えます。私達（現場一体なのでチーム）は、コース設計というのは何より造成地の有り様にかかわってくると思います。まずはベストなデザインをするためにはその土地を知悉すること。太陽光の角度、風の方向、季節の移り変わりでの天候などを体験するチャンスは現場にしかありません。むしろトップでの決断は私ですが、チームとしてデザインコンサルタントのエイミー・オルコットを始め、スコットランドから2人、米国、豪州から優秀なシェイパーや海外担当者を引き7人の設計チームをつくりました。オリビックにふさわしく、国際的チームを組んで造成にあたったのです。7人のチームが常に現場において知恵を出し合い、最後はトップとして私が即断即決するという体制です。これにより組織として風通しはよくなり、チーム

にしたり、インスピレーションをもらったりしましたか。

ハンス オリビックコースを造るためのコンセプトは、「TV観戦者が現場にいるように感じられるコースを造る」ことでした。

世界の有名なコースからインスピレーションを受けたか、という質問にはイエスです。リオ五輪コースのために、私達に与えられた土地は原生植物の生い茂る非常に平らな海浜でした。むき出しの砂、原生植物、この2つを美的にデザインしようと考えました。色とりどりの花は美しいが、荒々しい自然の草もコースのハザードとしては美しいものです。そして土地の低いところを高くするために多くの土を動かさなければなりません。それを自然なものにするには海の方へ水が流れていくようにデザインしたのです。

という、スコットランドの



ギル・ハンス  
1964年、米国ニューヨーク州に生まれる。コロラド大学・政治科学科、コネチカット大学・ランドスケープ・アーキテクチャー科卒業後、ゴルフ場設計家の道へ。大家を押しつけてリオ五輪で復活したゴルフでのコース造成に選ばれる。





# オリンピック × Gil Hanse INTERVIEW

可能な限り、  
人の手を加えないのがハンズ流。  
荒涼たる植物群も  
ハザードとして自然を活かす

レセルバ・マラペンディGC RESERVA DE MARAPENDI  
ブラジルに初めて作られたパブリックコース。南は人口に造られた2つの池が見事。池とルーシオ・コスタ通りを挟んで大西洋に面している。男子は7133ヤード、女子は6500ヤードのパー71で行われる予定。

自然保護地区として  
ジャングルには小動物が  
生息している。  
そこはしっかり残して  
ゴルフコースとの調和を図る



Olympic Village

Short Course

男女ともに公平なセッティングを熟考  
——コース・デザインのビジュアル面としてアピールしたいことはありますか。  
ハンス 大方の人が予想する非常に手入れされた美しいマニキュアチックなコースは望みませんでした。チャンピオンシップ・ゴルフ場が自然な外観——可能な限り人の手が入っていない荒涼とした自然——で競われるコースにしたかったのです。  
——USGA（全米ゴルフ協会）は2014年に全米オープン、全

米女子オープンと同じコース（バインハーストNo.2）で2週続けて開催しましたが、これはどう考えますか？ 五輪も男子、女子と続けて開催しなければなりませんね。ハンス USGAの2週連続開催は私達にとって初のテスト・イベントでした。そしてその結果は私達に非常に助けになりました。エイミー・オルコット（1980年、全米女子オープン覇者）と一緒に、ティショット戦略が男子、女子にとってどうすれば戦略的に魅力的になるか。そしてその設計理念が、スジが通っていて首尾一貫しているかに腐心しました。  
具体的に言うと、男子と女子がグリーンに向かって似たようなショットとクラブで攻められるようにするためにセカンドショット地点前方にハザードを配置しました。全米オープン、全米女子オープンのコースセッティングを担当するマイク・デービス（USGAエグゼクティブ・ディレクター）が、豊富な知識と経験を生かした眼力で、オリンピックのために力を貸してくれました。男子女子両方に公平に戦うためのコースが出来上がったと自負できます。  
——そういえばバインハーストNo.2も大方は砂地で荒地を活かしギヤラリーにラフを踏まれることもなく、メンテナン斯的にも2週連続してできるコース環境にもあつたと思いますが、五輪コースもその印象ですか。  
ハンス なるたけ人の手を入れず、荒地を活かすことはメンテナン斯的に楽になるというとは言えま

大西洋の風を  
真つ向から受ける  
熱帯の地に刻まれた  
リンクスとジャングル。

リンクスを想像しますが……。ハンス いや、コースの印象で言えば、オーストラリアのサンドベルト地区にあるロイヤルメルボルンGC、キングストンGC、ピクトリアGCにインスピレーションを受けました。  
そしてインスパイアされているのはスコットランドのセントアンドリュース・オールドコース、オーガスタ・ナショナルGC、ロサンゼルスCC北コースをあげることができそうです。  
——なぜオーストラリア・メルボルンのサンドベルト地区なのですか？  
ハンス 私達は設計チームが決まり、まず最初に決めたことはオーストラリアのメルボルン・サンドベルト地区を訪ねることでした。なぜならオリンピックが開催される8月はメルボルンの春の気候によく似ていることを知ったからです。それにロイヤルメルボルンなどは自然な植物を使って造成している点を重視しました。たしか30〜40の植物を植えて自然なラフ（ネイティブエリア）を形成しています。苦勞した点はありますか。  
ハンス ホール建てとしてはゲーム終盤、特に18番ホールは劇的ドラマが生まれるような——攻撃が成功すればバーディはおろかイーグルまでとれる——戦略的ホールをつくりました。これがTV観戦

リンクスを想像しますが……。ハンス コースが造成された土地は自然が守られた環境保護地区。美しいジャングルにはワニやカピバラの小動物、フクロウなどの鳥も多く、自然がむき出しの風景をつくっていますが、奥に行くほど大蛇などもいて怖かったです。あとリオは水が汚いのです。だから汚水がジャングルへ流れ込んだら大変だとは思っています。この懸念は現在でも持っています。環境保護地区のため、ずっと水は浄化されていくべきだったのですが……。  
——リオ五輪ではTV観戦する人は112年ぶりに復活したゴルフをより期待をして見ると思いますが、初めて観戦する人も多いはず。その人達にあなたのデザイン・コースを見せたいというためにメッセージを送ってもらいたいですか？  
ハンス ホール建てとしてはゲーム終盤、特に18番ホールは劇的ドラマが生まれるような——攻撃が成功すればバーディはおろかイーグルまでとれる——戦略的ホールをつくりました。これがTV観戦

すね。ただ2週続けてやるためだけにこのデザインを選んだわけはありません。先程も言いましたがその土地柄を活かす、ということを最優先したわけですね。  
——今回のリオ五輪では個人戦しかありません。これなら欧米ツアーと何ら変わらず、各国の代表になるかと思われず選手の間にはメジャーの全米プロと日程調整が合わせにくく、メジャー優先すると出場辞退が増えていきます。豪州のアダム・スコットらですね。IGFはまずはリオ五輪をやってみて東京五輪で試合方式を考えるといいと思いますが、あなたはこの件についてどう考えますか？  
ハンス オリンピックにおけるゴルフ競技は絶対にチーム（団体）戦でなければならぬと、私は考えます。だからリオ大会で実現されなかったことは非常に残念です。しかし私にはチーム戦を採用されなかった理由も理解できます。チーム戦で各国戦となると何日かかるか判らないからです。だから東京大会では純粋チーム戦ではなく、マッチプレーの要素を加味したフォーマットをつくるべきではないでしょうか。ゴルフアワードがチームまたは地域（国）を背負って戦う時、それは競技者の国家のアイデンティティを反映します。それがオリンピックの意義だと私は思います。  
——話はリオ五輪から少し離れてハンスさんの設計哲学のバックボーンは何かということから入っていきたく思います。ゴルフコース設計家になりたいと思われた





のはコーネル大学にいた頃でしょうか？  
 ハンス そうです。コーネル大学で学びながらゴルフコース設計勉強のため、1年間イギリス諸島で学ぶことを許可した奨学金を得たことが私のキャリアのキープレイクになります。その時、敬愛する設計家トム・ドークに手紙を書きました。トムも何年前に同じ賞をもらいましたから、アドバイスをもらおうと。そしたらトムが初めて単独で設計図を描いたミシガンのハイポイントコース造成に、チームの一員として参加しないか？の返事が来ました。二つ返事で、

## コースデザイナーになる道は建設作業の延長線にある。

参加すると答えましたよ。そしてひと夏、岩を切ったり、溝を掘ったりの土木工事を体験したわけです。  
 ——英国でゴルフコース建設を学ぶ前に貴重な体験だったわけですね。そして英国へ渡られたのですか？  
 ハンス そうです。イギリス滞在の1年間のうち5カ月がイングランドのオックスフォードの郊外で、6カ月はセントアンドリュースの郊外で過ごしました。ゴルフが、

発祥した地でのコースを観察することは貴重な体験でした。多くの有名なコースを見ることはコース設計家になるためには必須条件でしょう。また滞在中に会ったプロの1人と親友になり、これは現在でも続いています。そして大学でマスター過程を終えた頃、トムはまたもチャンスくれたのです。仕事を提供してくれ、独立の機会も作ってくれたのです。トムほど優秀なデザイナーと一緒に仕事できたのは私の誇りとするところですよ。  
 ——さきほど、自分は現場主義だといわれましたが、これもトム・ドークから学んだのでしょうか？



太陽光の角度、風の方向などは現場にいないと判らない。設計は机の上にはないというのがモットー

ハンス そうです。コースデザイナーになる最高の方法が建設作業の延長線にあることを知りました。設計図を描き、それを再現するために建設プロセスが非常に大事なわけです。そして「ゴルフコースを設計するためには、オンリーワンを造る方法を最初に知っておかなければいけない」というのも、トムから学んだことです。  
**リストアしたら  
 廣野はトップ10に入る**  
 ——さて、現在、米国では1920〜30年代にできたコースへの回帰現象が起きているとのこと。主に東部の名門コースの



ウイングドフットGCもハンスの手によりリストアされた。2020年、1984年以降の全米オープン開催

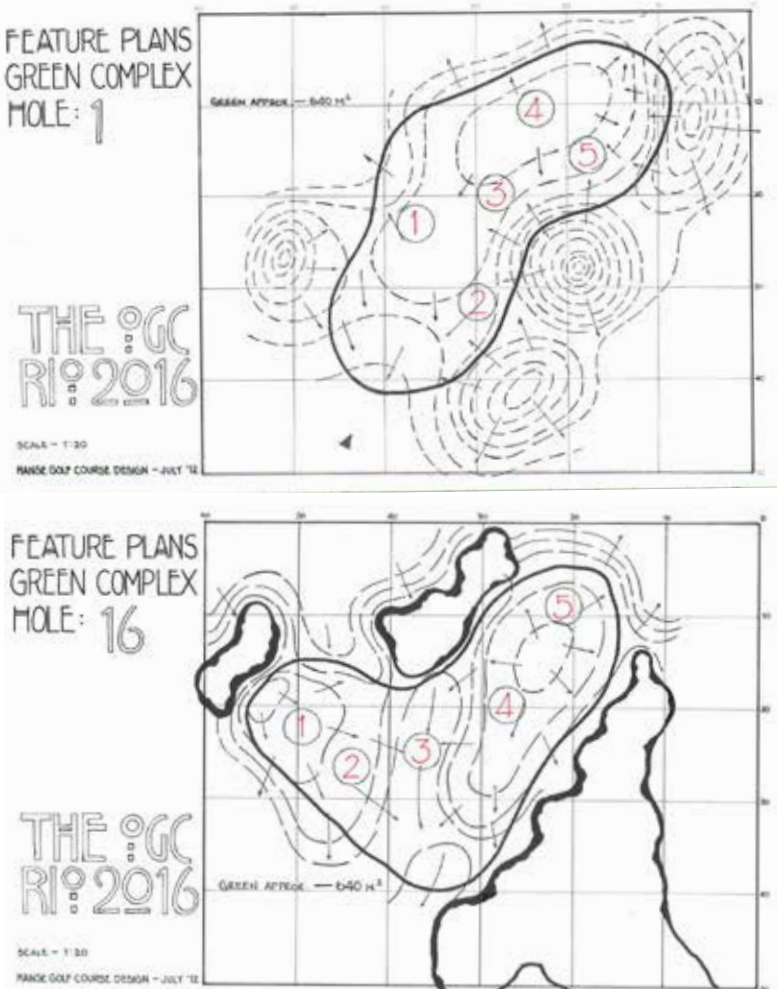
ハンスによってリストアされたロサンゼルスCC。閉鎖的コースで知られるが、2023年には全米オープンが初めて開催される

オリンピック × Gil Hanse  
 INTERVIEW

設計に郷愁を感じる設計家達が集まる「フィラデルフィア派」にハンスさんもシンパシーを感じ、賛同されていると聞いています。ハンスさんの「前任者」というべき「ゴールデン・エイジ」の設計者達——ジョージ・克蘭プ（バインバレーGC）、A・W・テイリング（ハースト（ウイングドフットGC）、サンフランシスコGC）、ページ・ステートパークGC、バルタス（ロールドGC）、ヒュー・ワイルソン（メリオンGC）、ウイリアム・フリン（シネコックヒルズGC）、ザ・カントリーC、ジョージ・C・トーマス（ロサンゼルスCC）、リベラGC、ベルエアGC）——をどう思われますか？  
 ハンス フィラデルフィア派と私達の仕事を比較してくれるなんてとても光栄なことです。私達の先駆者である彼らに共通することは、その土地の自然の特質を最大限に利用することに想像力豊かだったことです。その想像力によって、ホールをデザインしていくのに革新的方法を試みることを恐れませんでした。各々の土地でデザインが新しかったことは断言できます。私はそれをとても魅力的だと思っています。  
 ——これまでの偉大な設計家の中でスコットランドの近代デザイナーの道を拓いたハリー・コルト、彼とタッグを組んだチャールズ・H・アリソンはハンスさんの心の中ではどの位置にいますか？彼らの遺産は何だと考えますか？  
 ハンス 私の心の中でも偉人の2

人です。彼らが造ったコースは堅牢（ソリッド）で、ルート攻略はその土地柄を活かしたわけですね。アリソンのバンカーは創造的で芸術的ともいえます。ただ彼らはイギリス、ヨーロッパ、日本で尊敬を勝ち取っていますが、北米ではそうでないことは惜しまれることです。  
 ——あなたはウイングドフットGC西コース、ロサンゼルスCCノースコースのリストア（回帰）に取り組みましたが、それらの「ゴールデン・エイジ」の時のデザインに戻されたのですか？

——あなたはウイングドフットGC西コース、ロサンゼルスCCノースコースのリストア（回帰）に取り組みましたが、それらの「ゴールデン・エイジ」の時のデザインに戻されたのですか？  
 ハンス そうです。偉大な時代のオリジナル設計に今日のテクノロジーを持ってトライすることはとても重要なことです。オリジナルデザインの時には5番アイアンで打てればよかったものを、今、ドライバーで打たなければならぬというほど変えようとは思っていません。ハザードの戦略的メリットがどうプレーに意味があるのか？この感覚を大切にしています。  
 例えはロサンゼルス・ノースの17番ホールの深い峡谷がもはや効いていないからと言ってティをどれだけ下げればいいのか？私を土を持ち込んで高くしたティグラウンドを造るかわりに自然な位置にティは置きたい。ホール間の流れを損ないたくないのです。  
 ——改造されたコースの多くはホールを長くしようとティを下げたためにホール間を長く歩くなど、確かに興ざめですね。スムーズな流れになりませんか？



グリーン手前のマウンドへの落下地点によって、天国か地獄か左右される1番ホール(上)。花道はあるが、グリーン奥は大きく落ちていて、ピンポジションでやさしくも難しくなる16番(下)

ハンス その通りです。80ヤードもプレーヤーを後ろへ歩かせたくありません。バンカーに関しては今のプレーヤーに対応するため前の位置に造りたい。それが最初の設計意図と調和させる方法だと思えますから。ゴルフコースは絶えず進化しています。そしてオリジナルデザインさえ復活し得るので



同じ志を持つているように感じます。リストアでなくても、トム・ドークのように新設コースにも、ゴールデン・エイジの設計テイストを表現する設計家もいます。——リストアと改造との違いは何でしょうか？日本の廣野GCに関心があるか聞きましたが……。  
 ハンス リストアとは回帰、回復、改造・改修はリノベーション、もう一つはリデザインです。リストアは最初のデザイナーのテイストは保持されます。リノベーションは部分的改修、リデザインはグリーン間の位置をまるっきり変えたりする大幅改造です。私はリストア

に魅力を感じている設計家なので。そのための作業は最初のデザイナーの仕事に集中しなければなりません。元の設計図の要素が保持される時、革新は起こります。リデザインは新しいデザイナーがあらゆる要素を分解して変えること。これは最初のデザイン哲学からの離脱で、私はその方法をとりません。  
 もし廣野がチャールズ・アリソンの設計図にリストアされるならば私は真っ先に手を挙げたいですね。それは世界のトップ10のコースの1つとなりうるでしょう。  
 ——日本の東京GCでは朝霞時代のアリソンの設計図が完全な形でJGAミュージアムの倉庫の中から発見されましたが、それに対してインスピレーションはありましたか？  
 ハンス アリソンの設計図はぜひ見たいものです。そしてその図面を参照して、現在のデザインに適用できるかも知れないことを探ることになるならば非常に興奮するでしょうね。  
 ——私達も廣野、東京でのハンスさんの姿を見たいものです。長い時間、ありがとうございます。

オリンピック、男子はお盆真っ只中  
 男子8月11〜14日 7133Y P71  
 女子8月17〜20日 6500Y P71  
 いずれも4日間72ホール  
 ストローク競技男女各60名で戦う。世界ランク上位15名(各国4名まで)と1カ国2名の出場が可能だ